

はんYA! かんYA!

みんな知ってる? SNS で最近話題になった、#文庫川柳!
本のタイトルを眺めながら 17 音つないでつくってみよう!!
文庫だけじゃないけど、図書館にある本でやってみました。

『スキヤンダル』ノーラ・ロバーツ

『夢館』佐々木丸美

『陽気な殿様』五味康祐



『六枚のどんかつ』蘇部健一
『欲しい』永井するみ
『エゴイスト』桐生典子



『レッツゴー・ばーさん!』平安寿子
『じーさん武勇伝』竹内真



デン、デン、デデン、
デン レッツゴー!



トショブラ♥ ~レファレンスサービスについて~

もうすぐ夏休みですね。休みになれば自由な時間が増えるので、「あれこれやりたいコトができる!」とわくわくしている人もいます。でも夏休みといえば大量の宿題がツキモノ! それを考えるとユーウツな気分になる人もいるのでは? 図書館では、宿題の答えをズバリ教えることはできないけれど、調べもののお手伝いや本を紹介するレファレンスというサービスがあります。自由研究に使える資料を探したり、あなたの好みに合った読書感想文おすすめ本を一緒にみつけます。宿題に困った時はどうぞ図書館をたよってくださいね☆

発行: 甲賀市図書館

水口図書館 : 63-7400 土山図書館 : 66-1056

甲賀図書館情報館 : 88-7246 甲南図書館交流館 : 86-1504

信楽図書館 : 82-0320

ホームページ : <http://lib.city.koka.lg.jp/>

Book guide for Young Adult

甲賀市図書館ヤングアダルト通信



vol.3

2016.Summer

Koka City Library

ヤングアダルト (Young Adult) とは、13歳から19歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ!』では、ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

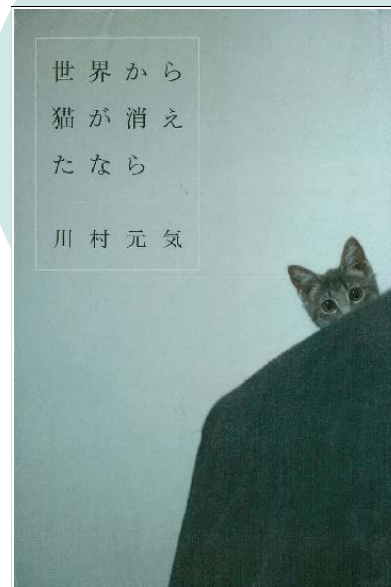
この夏おすすめ この1冊

世界から、もし猫が突然消えたとしたら。
この世界はどう変化し、
僕の人生はどう変わるのだろうか。

『世界から猫が消えたなら』

川村元気 / 著 マガジンハウス

世界から
猫が消え
たなら
川村元気



愛猫と2人暮らしで映画オタクな郵便配達員の「僕」は、ある日病気で余命わずかと宣告された。どうしていいかわからない僕の前に陽気な「悪魔」が現れ、世界から何かをひとつ消す代わりに1日命を延ばすことができるという。僕は生きるため、電話、映画と消していくが…。映画プロデューサーの著者による、今年映画化された、人生哲学エンタテインメント。

●自分らしく生きるための「心の原則」

『10代のうちに知っておきたい 「折れない心の作り方」』 水島広子／著 紀伊国屋書店



10代は、「自分」というものを作る大切な時期。生きづらさをかかえた大人に育てられたからといって、自分も生きづらい人生を送る必要なんてありません。自分についてのモヤモヤ・・・友だち関係のモヤモヤ・・・大人や社会のモヤモヤ・・・

そんなモヤモヤを解消してくれるYA世代必見の一冊。一度読んでみてくださいね。

●哲学は哲学者の人生そのもの

『はじめての哲学』 石井郁男／著 ヨシタケシンスケ／画 あすなろ書房



哲学はわかりにくいと思いませんか？この本では古代ギリシャから時代順に14人の哲学者の個性的な生涯を紹介しています。測地学・自然観察から哲学を広げたタレス、世界初の動植物園を作ったアリストテレス、平和を希求しつづけたカント、詩人でもあるニーチェ、また経済学者のマルクスなど。自然科学や歴史との関わりに気づかされ、その生涯からその思想に行き着いた理由がわかってきます。楽しく興味深く読める哲学の入門書です。

●誰もが毎日顔を合わせるアイツと向き合うために

『ウンココロ』 寄藤文平・藤田紘一郎／著 実業之日本出版



最後にアイツーウンコについて考えたのはいつだろう。我々はものを食べる。そしてそれらを体の外に出す。このシンプルな習慣と、じっくり向き合ったことがあるだろうか。超人気イラストレーターが視覚的にわかりやすく、ウンコについて徹底的に解説するこの本を、世界の見方を変えたい君へおすすめします。同著者の『死にカタログ』、『元素生活』もあわせてどうぞ。

●時田秀美 17歳高校生。青春まっただなか！

『僕は勉強ができない』 山田詠美／著 新潮社



大多数の意見が正しいとは限らない。当たり前のように言われたことに対しておかしいと思うこともある。相反するようなことが両方とも正しいこともある。自分は思うのか、自分でしっかり考えたい。

主人公の時田秀美は身の回りで起こる騒動に対して、母、祖父、恋人、友達、先生のそれぞれの考えに触れ、いろいろ悩み、考えます。もしあなたならどう思うのか。本を読みながら、秀美と一緒に考えてみてはどうでしょうか。

●上から目線の将棋の神様（美人×3人）降臨！！

『王手桂香取り！』 けいか 青葉優一／著 KADOKAWA



将棋の才能は凡人クラスの中学生男子「歩」の前に、とっても魅力的な女の子の姿をした3人の駒の神様が現れて・・・というベタな設定が苦手でも大丈夫！将棋の指し方などまったく知らん、という人・・・問題なし！将棋にかけける情熱と憧れの将棋部部長への恋心を胸にガンガン成長していく主人公とにかく共感しまくりです。続き（3巻まであり）がどうしても読みたくなるラストまで一気に駆け抜ける、ぼくらの盤上青春譜。

●ふるさとを元気にしよう！今新たな革命が県庁で起きる！？

『県庁おもてなし課』 有川 浩／著 角川書店



舞台は高知県庁に新しく発足された「おもてなし課」。そこで働く若手職員の水掛は、臨時職員の神明と共に地元の観光を盛り上げるべく奔走します。パンダ誘致やレジャーランド化計画が始動しますがそこには様々な問題が。果たしてプロジェクトは無事成功するのでしょうか。失敗を繰り返しながら成長してゆく物語です。人の温かさや豊かな自然、地元の魅力について改めて考えてみてはいかがでしょうか。